

visual	scece	shot	subtitle	object	audio	part	music/sound	lyric
シーン	ショット	字幕	被写体	ナレーション	セリフ	音楽/音	歌詞	
1	1			品物を物色する父親、女性から荷物を受け取る。	今月はまったく□□□□□□で、足が地に着かないほどの喜び、脈々としての帰りの道でした。		○	
	2						○	
2	1			嬉しげに荷物を抱えなおす父親。後ろを女性や親子連れが通ってネオン街。画面左のネオン「ネラル・モーターズ シボレー ハ好努力〇良品≠不足ナシ」。画面中央のネオン「ユニオンビル」。玄関の戸口にて両手いっぱいの荷物を抱え、楽しげな様子で帰宅する父親。			○	
3	1						○	
	2			床に広げた紙を見ている母親と兄妹3人。物音に気づき、玄関へ向かいに行く妹と弟。障子を開け、居間へと入っていく父親。帽子を脱ぎ、壁へ掛ける。母親に給金を渡す父親。給金と父親の顔を見比べて驚く母親。父親は荷物を子供達に手渡していく。	妹: あ、お父さんだ。おかえんなさい 父親: ただいま 妹: 何買ってきたのお父さん 父親: いやあ、今日はね、いっぱい買い込んできたぞ。喜んでおくれ。わしは今日は、実に嬉しいんだよ。さあ、これをごらん。今月は【しっこう料?】を15円も余計に取ってきたよ。ああ、本屋さんでびっくりしておった。【あはは?】さあ、皆にこれはお土産じゃ。それっ。 妹: なまに、これ? 妹: お人形さんだわ 弟: 僕は絵の具と画用紙だ。うれしい 弟: あ、お兄ちゃんも同じ? うれしいな 明日は一緒に写真に行こうねー 父親: 【ははは?】そんなに嬉しいか? 父親: ああ、【やあ?】、来月はもつともつと働いてやるぞ。こんな、どうも、珍しい 父親: わしはちつとも知らないうちにこんなに稼いでおったよ。15円も。ああ、本屋さんが喜んでおった。 父親: わしはもう、何も言うことはないよ。ああ。皆が喜んでくれるし、わしや、こんなに嬉しい事はない。とにかく、15円も、お前【ははは...?】	○		
	3			包みを開ける妹と弟。その後ろで父親が上着を壁に掛ける。			○	
	4			包みを開けて喜ぶ妹と弟。辺りを走り回る。画用紙と絵具を持って座っているまさお。喜ぶ母親			○	
	5			家族の喜ぶ様子を見て微笑む父親。			○	
	6			輪になって歩き回る妹と弟。手にはお土産を持っている。			○	
	7			小さな引き出しのようなものを挟んで向かいに座る母親。父親は身振りで喜びを示す。			○	
	8			父親と母親を見て微笑む少年兄。しかしすぐに暗い表情を浮かべ、俯いてしまう。席を立つ少年。少年の様子に気づかず手拍子を打つ父親。			○	
4	1			二宮尊徳像を見つめ何かを話しかけるまさお			○	一度止めぬと思えしも
	2			書き物をするまさお			○	□□□□喜ぶに
	3			置時計「1:55」			○	やっぱり
	4			書き物をするまさお			○	父の加勢をば
	5			25日の日めくりカレンダーを破り、26日にする。破られたカレンダー「1932 May 25 五月口五日 水 八白大安 四月口日」 表紙になったカレンダー「1932 May 26 五月口六日 木【九案?】赤口 四月口一日」			○	続けてやると決心し筆を取るこそ
5	1			鳥かごに入れられた鳥。			○	健気なり
6	1			紙を数える父親。棚を漁る弟に声を掛ける。	父親: すすむ、兄さんはどうした? 弟: 知らないよ 父親: おい、まさお 父親: なんだ、まだ寝ておるのか? 父親: 何時まで寝ているんだ		○	
	2			いぶかしむ父親。本をカバンに入れていく弟				
	3			布団に包まって眠るまさお、気だるげに起き出す。				
	4			険しい表情の父親				
	5			呆然とした表情で立ち上がるまさお				
	6			気まずそうに俯くまさお。近づいて説教を始める父親	父親: まさお、お前にはこの父の気持ち分からないのか。お前はどのわしのことも、兄妹のこともお母さんのことも皆忘れてしまおうとしているのか?		○	
	7			父親の声を聞いて、心配げにそちらの方を見やる母親。たまりかねて、彼らの元へ向かう。			○	
	8			俯くまさお。まさおを抱き寄せる母親。直立不動の姿勢で、責めるような目つきでまさおを見詰める父親。	母親: まさおさん、お前はどこか身体が悪いんじゃないですか? 父親: 余計なことを言うな 母親: でも、この子の顔色は決して普通ではありません		○	
	9			心配そうに両親と兄を見詰める弟。学生帽を被り、鞆を背負ってい			○	

scene	shot	subtitle	object	narration	part	music/sound	lyric
シーン	ショット	字幕	被写体	ナレーション	セリフ	音楽/音	歌詞
	10		俯いたままのまさお。母親はまさおを抱いたまま、父親を見詰める。父親が弟に歩み寄り、肩に手を置いて話しかけてから立ち去る。母親と顔を見合わせる弟。		父親：すすむ、兄さんはもう、学校も何も嫌になってしまったらしい。これからはお前が頼りだ。頼りにする者はたったお前1人しか居なくなってしまうんだ。しっかり勉強して、偉くなって、お父さんを安	○	
7	1		【校庭?】で遊ぶ大勢の学生達	そして、その翌朝でありました。			
	2		校門をくぐる父親。				
	3		砂場で遊んでいた学生1人が父親に気づく。				
	4		父親に駆け寄る学生。父親の腕を掴みながら先導する。一緒に歩く父親。		学生：おじさん、どうしたの？多田君はあそこにいるよ！ 父親：うん？いや、ねえ。私は先生に会いに来たんだよ。 学生：先生ならあっち。僕案内してあげ		
8	1		室内にて、話し合う父親と訓導。父親が訳を話し終えると、訓導は顔を上げる。		父親：そんな訳でして 訓導：いやあ、出来る事はよく出来ますが、この頃、だいぶ元気が無くなっているようすな。 父親：はい、実はそのことが心配でわざわざお伺いしましたような訳で。どうもこの頃すっかり変わってしまった様で、気が気ではございません。		
	2		部屋の外で聞き耳を立てているまさお		訓導：もともと利口な子ですから		
	3		話す訓導と父親。礼をして辞する父親。		訓導：今にきつと気がつくときが来るだろうと思いますが。まあ、そう、ご心配なさらんでもよろしいでしょう。 父親：はい、どうぞ先生のおかげで、元のように導いてやってくださいまし。何分、よろしく願っています。大変お忙しいところを失礼いたしました。 訓導：いやいや、何のお構いもしません		
9	1		机に突っ伏しているまさお。廊下の奥から学生がやってきて、彼を揺り起こす。しかし反応が無い。急ぎ助けを呼びに行く学生1人。		学生：多田君、多田君。どうしたの、お父さんが来てるよ。多田君、あつ、大変	○	
	2		訓導の元へ駆け寄る学生1人。教室へ急ぐ訓導。		学生：先生！大変です！多田君が、多田君が真っ青になって倒れているんで	○	
	3		まさおとその周りには心配げに彼を囲む学生達。まさおを抱え起こしていた男性1人。訓導を呼びに行った学生と訓導とが到着する。抱き起こして症状を見る訓導。		訓導：どうした、どうした。うん？どうしたんだ。おい、多田。おい。これ。【ああ？】、こりゃあ脳貧血を起しておる。	○	